



B型肝炎予防接種が 定期接種になりました

保健医療課医療予防係 ☎0824・73・1155

10月1日から、新たにB型肝炎予防接種が定期接種（法律で定められた予防接種）になりました。

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。このウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合（この状態をキャリアといいます）があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともありま

す。B型肝炎ワクチンによる予防は、キャリアになることを防ぎ、将来発生するかもしれない慢性肝炎・肝硬変・肝がんの発生を防ごうとするこ

とが最大の目的です。
※厚生労働省作成の資料から一部転載
※（公財）予防接種リサーチセンター「予防接種と子どもの健康 2016年度版」改訂部分から転載（一部改変）



■対象者

平成28年4月1日以降に出生した満1歳未満の人
※対象となる人には予防接種券などを送付しています。

■標準的な接種期間

生後2カ月から9カ月に至るまで

■接種回数

3回（1回目から27日以上の間隔を
おいて2回目を接種、3回目は第1
回目の注射から139日以上の間隔
をおいて接種）

そのほか、予防接種に関してご不明な点がありましたら、ご相談ください。

安心・安全な毎日のために

「点ける広島県」
ライト点灯運動
「ピカピカ作戦」展開中！

例年秋口からは、暗くなる時間帯と交通量が多くなる帰宅時間帯とが重なるなどの理由から夕暮れ・夜間の交通事故が増加する傾向にあります。

夕暮れ・夜間の交通事故を分析すると、①車両のほとんどが下向きライト②自転車の半数が無灯火③歩行者のほとんどが反射材を未活用—であり、発見の遅れが交通事故につながっている状況がうかがえます。

そこで広島県警察では、夕暮れ・夜間の交通事故防止を図るため、関係機関・団体と連携して、①車両の運転者に対する早めのライト点灯・上向きライトの励行、②歩行者に対するLEDライト、反射材などの反射用品の積極的な活用—を展開しています。

庄原警察署 ☎0824・72・0110

飲酒運転の根絶！

広島県内では飲酒に起因する交通事故が昨年と比べて増加しています。飲酒運転は故意の犯罪行為です。「ちよつとだけなら」「バレなければ」という気持ちを取り返しつかない結果を招きます。飲酒運転は絶対に「しない・させない・許さない」を徹底しましょう。

庄原警察署管内の人傷交通事故件数

	H27年 9月末	H28年 9月末	増減数	H27年合計 (参考)
庄原市	55件 (1人)	32件 (0人)	▲23件 (▲1人)	72件 (2人)
広島県内 (参考)	7,912件 (69人)	7,098件 (58人)	▲814件 (▲11人)	11,152件 (95人)

※（ ）内は死者数です。

アンダー100作戦実施中！
～目指せ日本一安全・安心な広島県の実現～
年間の交通事故死者数を90人以下に！